

WAKABA

令和7年1月15日発行 文責:坂本・濱田

高等部 授業体験会を行いました

10月8日(火)に高等部の授業体験会を行いました。体験生18名、保護者・関係者56名と多くの参加がありました。授業中に実施し、在校生の先輩たちと一緒に「作業学習」の授業を体験しました。本校には8つの作業班があり、クリーン班、リサイクル班、クラフト班、環境メンテナンス班、染め物班、陶芸班、木工班、農園班に分かれて活動しました。

体験生は、最初は緊張した様子でしたが、先輩や先生の声かけに笑顔になったり、目の前の作業に集中して取り組んだりする姿が見られました。保護者からは、「生徒たちの学習や作業内容を、実際に見学できてよかった。」「子どもが実際の授業を体験することができ、進路選択の参考になった。」などの感想をいただきました。

*作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。

特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(上)(高等部)第5章 第2節より引用

教えて!

わかばちゃん



合理的配慮について考えてみよう!

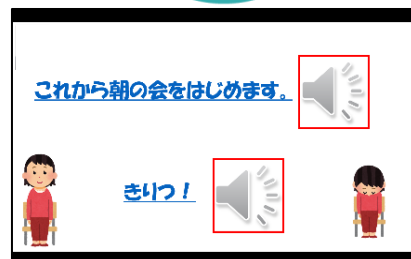
〈個への配慮〉

学校現場における「合理的配慮」は、一人一人に合わせたものであり、児童生徒によって違います。平成28年の「障害者差別解消法」の施行により、どの学校においても、障害のある児童生徒に必要な「合理的配慮」を提供することが求められるようになっていく今、改めて合理的配慮について考えてみましょう。今回は、本校での合理的配慮の例を紹介します。



クールダウンスペース
一人で気持ちを落ち着けたり、余計な刺激や情報が入るのを防いだりするための安全な場所として使用しています。

合理的配慮を提供することで、その子自身が自分の力を十分に発揮し、主体的に活動・学習できるとよいと思います!!



読み上げ機能を使用した朝の会
発語の少ない生徒がボタンやタッチで読み上げを使用することで、学級の活動に参加できるようにしています。

個別の予定表

イラスト入りの予定表を小さなホワイトボードに貼り、いつでも確認できるようにすることで、見通しをもてるようにしています。

“ユニバーサルデザイン”について

〈全体への配慮〉

ユニバーサルデザインとは、「調整または特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲ですべての人が使用することができる製品、環境、計画及びサービスの設計」とされています。「インクルーシブ教育システム」構築に向けた取り組みには、ユニバーサルデザインの考え方も考慮しつつ、進めていくことが重要とされています。教育の場においては、「授業」「人的環境」「教室環境」の3つのユニバーサルデザイン化を柱にして、バランスよく取り組むことが効果的です。

授業のユニバーサルデザイン（視覚化・動作化）

例



授業や活動の流れを提示
ゴールが見えることで自己コントロールにつながる。得意なところ、苦手なところの活躍場面を見せることで、SOSが出しやすくなったり、意欲的になれるりする。マグネットなどの活用も有効！

ポイントの表示

「→」など、今どこをやっているかが分かつと、毎回聞かずに自分で判断でき、やる気アップ！

11-5のけいさんのしかたをかんがえよう

チョコケーキが11こあります。
5こたべました。のこりはなんこ？
① ひきさんことばはなんですか？
② しきをかきましょう
③ こたえはなんですか？

拡大コピーは優れもの！

教科書やプリントと同じものを拡大するだけで、今何をやっているのか迷わず、書き込むことができる。子どもたちの前に出て書いてもらうのも効果的！

具体物操作

様々な具体物を使うだけでやる気アップ！抽象的に考えることが苦手な子どもにとって、具体物操作は大きなヒントになることも！種類別にケースに入れて整理しておく、どんな教科でもすぐに使うことができる。



色チョークの活用

大切なところは分かりやすく！ノートに写すことが苦手な子は「〇〇色のところだけ書こう」とするだけで、やる気アップ！



タイマーの活用

「あと何分」は分かりにくい。時間を「量」として見るができるタイマーを使うと、残り時間を意識させることができ効果的！！

手遊び

授業の始めや途中に手遊びなど手を使った活動を入れると、集中力アップ！
(例) 10の合成を手を使いながら手遊びで楽しみながら！

人的環境のユニバーサルデザイン

例

話は短く、1文1文動作為視覚化で！

「教科書10ページの1番を9時30分までにやったら、その後はプリントをやります。それも終わったら読書してください」



P10

- ① 1番やります
- ② プリント
- ③ 読書

話しながら提示することで、耳と目の両方から情報が入るように！カードにしておくのと貼り替えられて使いやすい場合も！

あいまいな言葉はNG！具体的な指示を！

抽象的な言葉はできるだけ少なくする。曖昧さは子どもの混乱を招くことがあり、友達同士のトラブルにつながることも・・・

NGワード

「あっち」「こっち」「あと少し」「またあとで」



友達の発表を聞くとときは作業も一緒に！

発表会など、長い時間友達の発表を聞いているのは大変。聞くとときに、聞き手に役割や課題があると、集中力は高まり、持続する。

① プリントを用意

例

- (1) 上手なところを10こ書きましょう
- (2) 初めて知ったことを5こ以上書きましょう



② 感想を付箋に書いて渡す

③ 記録係（ビデオカメラや記録をする）

④ 評価カードを渡しあう

グループでプリントに書いた感想を伝えあうのもよい。

注意をひいてから伝えよう！

いきなり話し始めず、「今から話すから、みんなは聞く時間」という状況や場面を丁寧にすることが大切。

(例) ・「今から3つのことを話します」

- ・注目する物を示してから「静かに」「こちらに注目！」
- ・タイマーを鳴らす ・手遊び



※スモールステップを踏むことでできることが増えていく
→褒める機会が増える→子どもたちのやる気アップ！
→教師との信頼関係につながる



教室環境のユニバーサルデザイン

① 黒板はすっきりときれいに!



黒板と教室正面はすっきりと!たくさんものを貼らない方が集中カアップ!

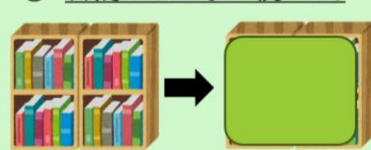
黒板はピカピカに!日にちやスケジュールくらいを書き、それ以外は小黒板や紙に書いて別の場所に!

② 座席の配慮を!



1. モデルになる子どもは、斜め前の席の位置に。
2. 友達関係にも配慮!
3. 机間指導しやすいロードを作る!
4. 座ったときに足は床につく高さに。姿勢が崩れやす場合は座布団は数かない方法も。
5. 先生の側に特別席を用意してもよい。
6. 見やすい、聞こえやすい場所を見つけて!

③ 目隠しを上手に使って!



棚や本棚、前の掲示物などは、布やカーテンで目隠しするなど黒板に集中してもらう工夫が大切!授業でも使用するまでは目隠ししておくことで導入に集中できる。

④ 係活動で活躍場面を!背面は作品やあゆみ、頑張り場面を!



壁にコーナーを設けて、係活動や掃除当番、おたよりなどをまとめて掲示。頑張っている子、困っている子が分かりやすい。また、何をすることが分からない子も自分の仕事を確認することができる。一人一人が褒められるチャンスがふやそう!

背面はぜひ子どもたちの活躍の場をみんなで見る事ができる場に!

みんながいるから楽しいクラスに!!

⑤ クールダウンスペース



落ち着けないときや気持ちが不安定なときにクールダウンするスペースの確保を。教室の後方や隅に衝立や本棚、マットなどを敷いて周りとの境界を作るとよい。

- 出典：・特別支援教育コーディネーターハンドブック 山梨県教育委員会 令和3年7月 改訂
 ・阿部利彦ほか 2017『通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュ Q&A 55』東洋館出版社
 ・佐藤慎二 今日からできる!通常学級ユニバーサルデザインー授業づくりのポイントと実践的展開ージァース教育新社
- ・阿部利彦 発達障害の子どもたちから教わった35のチェンジスキル 合同出版
 ・教育のユニバーサルデザインの視点を広げる リーフレット Vol.3-1 神奈川総合教育センター
 ・知的障害者支援に役立つ氷山モデル・ABC分析シートの書き方・活かし方 林大輔 中央法規出版
 ・国立特別支援教育総合研究所
 「インクル DB (インクルーシブ教育システム)」 (<http://inclusive.nise.go.jp/>)

<訪問支援について>

今年度も、本校のセンター的機能を活用してくださり、ありがとうございました。

R6年度の訪問支援は、2月いっぱいにて終了いたします。

来年度も本校は、障害のある子どもたちが、共に地域の学校で学んでいけることを目指し、センター的機能の発揮に努めていきます。よろしくお願いいたします。

山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL:055-285-1750

FAX:055-285-5827

担当:インクル推進部 (五味 優紀 鮫田 直子 田中めぐみ 濱田 結衣)

【URL】 <http://www.wakabay.kai.ed.jp/>

【E-Mail】 wakaba-yg@kai.ed.jp

受付時間

月・火・木・金 9:30~16:30